



学校長あいさつ

誉田中学校は、1947年の創立以来、今年で79年目を迎える羽曳野市で最も歴史のある中学校です。学校のすぐ西側には、世界遺産 百舌鳥・古市古墳群の代表的存在でもある誉田山御廟古墳（応神天皇陵）があり、古墳との間には歴史ある東高野街道が通ります。また、校区内には日本最古の街道である竹ノ内街道もあり、悠久の歴史を感じることができます。

誉田中学校では「自主自律」の校訓のもと、人と人との心の絆の大切さを学ぶ学校として、「集団づくり」を柱とした学校教育活動を行っています。また、本校の卒業生が保護者として地域に住まい、現在の誉田中学校を支えてくれています。「集団づくり」で紡いできた心の絆が、現在の誉田中学校をつくり上げています。

誉田中学校では、生徒や教職員など学校で生活する人はみんな「チーム誉田」の一員です。そして「チーム誉田」でさまざまなものをつくり上げていきます。学校では、一人ひとりを大切にするとともに、チームとして活動することが大切です。一人が発揮した小さな力は、二人、三人と増えていくことで大きな良いうねりと変わっていきます。さまざまな考え方の人が、さまざまな視点で物事を捉え、意見を交わし合いながら、同じゴールに向かってともに歩むことで、何十倍もの力となって大きな流れをつくることができます。「チーム誉田」は、これまでもそうして学校づくりをしてきました。「学校は成長し、変化する場である」「学校は貢献と挑戦をする場である」「学校は人を見守り、承認する場である」の考え方のもと、これからも「チーム誉田」は歩み続けます。

地域の方々、保護者の方々をはじめ、誉田中学校を支えていただいているすべての方々に心より感謝いたします。これからも「チーム誉田」をよろしく願います。

令和8年 4月 1日

校長 木下 知樹



誉田中学校エンブレム

歴史街道の「竹ノ内街道」「東高野街道」の交差しているところに応神天皇陵がデザインされています。



誉田中学校公式
キャラクター

チュンタ



誉田中学校公式
キャラクター

ピート